

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟県柏崎市立北鯖石小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒945-0113
新潟県柏崎市大字中田1743番地の2

E-mail : kitasaba@kenet.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 58 名 女子 66 名 合計 124 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 活動のテーマ 「自分だけでなく みんなのために
今だけでなく これからもずっと」

(2) 地域・人・もの・自然と関わり、つながる活動

<1年生>「いきものとなかよし」

アサガオを種まきから種取りまで大切に育て、日々の成長や変化を楽しみに観察をした。つるもクリスマスリースとして活用した。

<2年生>「わたしたちのやさいばたけ」

地域の野菜名人から野菜の育て方を教えてもらったり、生き物の世話を通して命の温もりを感じたりしながら育てることの大切さについて考えた。

<3年生>「柏崎のおたから」

地域の「お宝」さがしを通して、地域の行事や名産が人々の努力や工夫からできていることを知り、自分たちがどのように関わっていくべきなのかを考えた。

<4年生>「柏崎の水のたび」

ダムから排水浄化までの飲料水のつながり、川—用水路—川という農業用水のつながりを学んだ。川遊び、ダム見学、用水路の生き物救出活動を通して、「水は回っていること」「自分たちは自然の輪の一部であること」を考えた。

<5年生>「お米のすばらしさ」

稲作を通して、米の需要の低下や生産者の減少など、日本の稲作が抱える問題や課題などを踏まえ、当たり前のように食べている米のよさを再発見する学習に取り組んだ。米の栄養価や、米粉として活用する方法などについて考えた。

<6年生>「道—いろいろな人の生き方から考えよう」

地域で仕事に従事している人たち取材し、誰もが地域のため、人のために仕事をしていることに気付いた。そして、地域の人たちが、助け合いながら自分たちの生活を守っていることを知り、地域とのつながりをより大切にする気持ちを深めた。

<全校の活動>

「ESD集会」

環境委員会が、「自分だけでなく みんなのために」「今だけでなくこれからもずっと」という気持ちを大切にしたい行動の具体例を寸劇を交えて発表し、「きみたちもESDマンになろう」と呼びかけた。各シーズンの終わりには、各自が「ESDマンとしてがんばっていること」を振り返ることができた。

「全校登山」

全校縦割り班で、地域の登山ボランティア、保護者と刈羽三山の一つである八石山登山を行った。地域や郷土の自然にふれ、関心をもつことにより、人と自然とのつながりや、自然が見せる多様性について考えることができた。また、縦割り班の仲間や保護者、地域のボランティアとふれあい、ルールやマナーを守りながら励まし合って行動することを通して、関わりやつながりを深めることができた。あきらめずに最後まで歩くことで、仲間と力を合わせて困難を乗り越える意欲を高めることができた。

「地域の方とふれあう会」

地域の老人会の方々から、ゴム鉄砲、あやとり、お手玉、こま回し、縄ない、将棋などのコーナーを設置してもらい、子どもたちの希望する昔遊びやものづくりを指導してもらった。自分の手でつくったもので遊んだり、日頃経験できない伝承遊びを教えてもらったりすることにより、手作りの遊びの楽しさを学んだり、地域との交流を深めたりすることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）